

アドアース

今期は利益急回復

マカオ出店など次の一手も

ストジャパンホールディングス(2409・東マ)への第三者割当増資実施(今年6月)、有利子負債の圧縮を最優先にした財務戦略の推進など、資本・体制面の改革も収益向上を支える。

将来に向けた施策も打ち出している。ゲオから同社店舗へのカプセル自販機(通称カチャカチャ)の設置・運営業務を開始。約600店舗・6000台の設置を完了した(11月時点)また、海外への展開としてマカオにカジノ併設店舗「アドアースサンス・マカオ店」を9月に開設した。国内では複合介護施設ユニマツトそよ風へのAM機器導入をはじめ、シニア層に向けた施策を展開している。

なお、第2・四半期の経常利益は7億8200万円(前年同期比67%増)と期初予想の4億円を上回った。通期の経常利益予想については期初の7億円から上方修正した。

アドアース(4712・JQ)の2012年3月期は、売上高236億円(前期比9%減)、経常利益9億円(前期は7400万円)と大きく回復する。

アミューズメント(A M)施設の不採算店のスクラップで減収となるが、AM事業での効率投資や光熱費抑制、さらに全社的なコスト削減で収益が回復する。藤澤信義氏を新代表とする新しい経営体制への移行、ネク